

[付録2] 年表：日本国際理解教育学会の研究活動の歩み

研究大会				
年	大会日時・会場	シンポジウムテーマ	特定課題研究・イベント等	その他の研究活動
1991	第1回大会(学会設立総会) 1991年1月26日 会場：はあといん乃木坂健保会館	「国際理解教育と21世紀」		
1992	第2回大会 1992年1月26日 会場：機械振興会館	記念講演 「21世紀の世界と日米の役割」 栗山尚一		
1993	第3回大会 1993年1月24日 会場：国際連合大学	パネルディスカッション 「国際理解教育の来し方行く末」		
1994	第4回大会 1994年2月6日 会場：国際連合大学	講演 「今日の国際社会の在り方とその問題点」 中嶋嶺雄		
1995	第5回大会 1995年1月22日 会場：国際基督教大学	「学校教育における国際理解教育の課題」		
1996	第6回大会 1996年6月22・23日 会場：帝塚山学院大学	「共生を進める国際理解教育—理論と実践の統一をめざして」	特別報告 「21世紀の教育国際委員会の報告について」 天城勲	
1997	第7回大会 1997年6月14・15日 会場：目白学園女子短期大学	「国際理解教育の視点から見た総合学習をどう考えたらよいか」	課題別検討会 1. 地域の特性を踏まえた国際理解教育 2. 直接交流による国際理解教育 3. 環境に働きかける国際理解教育	
1998	第8回大会 1998年6月13・14日 会場：上越教育大学	「日韓交流を通じてみた国際理解教育の課題と展望」		第1回教育懇話会 科研究費研究報告書 (基盤(A)代表：中西晃)「国際理解教育の理論的、実践的指針の構築に関する総合的研究」 (1995-97年度)
1999	第9回大会 1999年6月12・13日 会場：帝京大学	「新学習指導要領の『国際化』の視点をどう受けとめ、どう生かすか」	「国際理解教育の基本概念としての『国』—日本の学校教育における『国』をめぐるジレンマの中で」	
2000	第10回大会 2000年6月10・11日 会場：奈良教育大学	「国際理解教育で『総合的な学習』をどう創るか—国際理解教育の実践の理論化と理論の実践化をめざして」 基調講演 「国際理解教育と総合的学習」 梶田毅一	「地球時代における『国』と人々—国際理解教育における新たな視点からの『国』の学習について」	第2回教育懇話会

[付録2] 年表：日本国際理解教育学会の研究活動の歩み

研究大会				
年	大会日時・会場	シンポジウムテーマ	特定課題研究・イベント等	その他の研究活動
2001	第11回大会 2001年6月9・10日 会場：筑波大学	「国際理解教育におけるメディアリテラシー」	「地球時代における『国』と人々—授業づくりの課題」	第1回コロキウム 「ユネスコ共同学校と国際理解教育の初志」 第3回教育懇話会
2002	第12回大会 2002年6月8・9日 会場：広島大学	「国際理解教育におけるカリキュラム開発」 基調講演 「国際理解教育のカリキュラム開発」中島章夫	「国際理解教育とユネスコのかかわり—海外の動向と対比して考える」	第2回コロキウム 「戦後日本における教育政策・行政と国際理解教育」 第4回教育懇話会
2003	第13回大会 2003年6月7・8日 会場：桜美林大学	ミニシンポジウム ○内なる国際化と国際理解教育 ○「自文化」理解と「異文化」理解の両立 ○グローバルな視点に立った国際理解教育 ○平和の学習と国際理解教育 ○学校と地域の連続 ○国際理解教育としての小学校英語教育 ○日韓交流の促進と国際理解教育 ○人権学習と国際理解教育	「国際理解教育と総合学習—カリキュラム開発の理念と方法」	第3回コロキウム 「国際理解教育における理論・実践研究の現状と課題」 第5回教育懇話会
2004	第14回大会 2004年6月5・6日 会場：京都ノートルダム女子大学	ミニシンポジウム ○学会科研究費の現状報告とこれからの課題 ○持続可能な社会：開発と環境の視点に立った国際理解教育 ○多文化共生—内なる国際化のための国際理解教育 ○9.11以降の国際理解教育を考える ○デジタルバインドと国際理解教育	「国際理解教育の授業実践をどう深めるか—学びの創造と教師の役割」 * イベント 「シンポジウム：日韓新時代の文化交流と国際理解」	第4回コロキウム 「カリキュラム開発の方法と教育モデル」 第6回教育懇話会
2005	第15回大会 2005年6月4・5日 会場：玉川大学	ミニシンポジウム ○国際理解教育と「総合学習」で身につく学カ—学会科研究費研究・国際理解教育のカリキュラム開発に関連して ○21世紀の市民像を探る—市民社会を創る人間を育む国際理解教育 ○地域から出発する国際理解教育の実践—地域と世界をつなぐ国際理解教育 ○グローバル時代を確かにするもうひとつの国際交流—世界と学びあうユネスコ共同学校の実践などを通して ○国際理解教育研究へのアプローチ：実践の分析と評価	「国際理解教育の現代的定義を問う」 * イベント 「シンポジウム：持続可能な開発のための国際理解教育」	第5回コロキウム 「関連学会・研究団体の動向と国際理解教育」 第7回教育懇話会 科研究費研究報告書（基盤(B)代表：米田伸次・多田孝志） 『グローバル時代に対応した国際理解教育のカリキュラム開発に関する理論的・実践的研究』（2003-05年度）
2006	第16回大会 2006年6月10・11日 会場：岐阜大学	「多文化共生の学校づくり地域づくり」	「アジアにおける国際理解教育の現状と研究ネットワーク構築の可能性」	

研究大会				その他の研究活動
年	大会日時・会場	シンポジウムテーマ	特定課題研究・イベント等	
2007	第17回大会 2007年7月28・29日 会場：北海道教育大学	「転換期を迎える国際理解教育」	ポストイベント 「日本・韓国・中国相互理解のための教材開発ワークショップ」	
2008	第18回大会 2008年6月14・15日 会場：富山大学	「学校の中の多文化共生の構築を目指して」	「ユネスコの動向を踏まえた日本の国際理解教育—世界遺産教育を切り口としたESD」	
2009	第19回大会 2009年6月13・14日 会場：同志社女子大学	「国際理解教育と『習得・活用・探究・参画』に結びつくワークショップ、参加型学習がめざすもの」	「ことばと国際理解教育」 * プレイベント 「シュタイナー学校現地見学会」「講演会：ユネスコ・スクールとシュタイナー教育」	中牧弘允・多田孝志・森茂岳雄編 「学校と博物館でつくる国際理解教育」明石書店
2010	第20回大会 2010年7月2・3・4日 会場：聖心女子大学	「日本国際理解教育学会の到達点と展望—第20回研究大会を記念して」	「グローバル時代のシティズンシップと国際理解教育」 学会創設20周年記念特別講演 「グローバル化—21世紀の教育としての国際理解教育の方向」 松浦晃一郎 * プレイベント 20周年記念講演会 「21世紀の教育としての国際理解教育の方向」 佐藤学	日本国際理解教育学会編「グローバル時代の国際理解教育」明石書店
2011	第21回大会 2011年6月18・19日 会場：京都橘大学	「[9.11]後の平和教育の成果と課題—グローバル化の下で、戦争をどう伝え、どう教え、どう学ぶか」	「持続可能な社会形成と教育—ESDの実践的基盤に関する総合的研究」	科研費研究報告書(基盤(B)代表：大津和子)「日韓中3カ国の協働による相互理解のための国際理解教育カリキュラム・教材の開発」(2009-11年度)
2012	第22回大会 2012年7月15・16日 会場：埼玉大学	シンポジウムA「今こそ教科教育における国際理解教育を」 シンポジウムB「国際理解教育実践における新しい検証・評価の方法を探る」 シンポジウムC「シティズンシップからシティズンシップ教育へ」	「文化的多様性と国際理解教育」	日本国際理解教育学会編「現代国際理解教育事典」明石書店
2013	第23回大会 2013年7月6・7日 会場：広島経済大学	「海外研修・スタディツアーと国際理解教育」	「平和教育と国際理解教育」	
2014	第24回大会 2014年6月14・15日 会場：奈良教育大学	シンポジウム1「ESDと国際理解教育」 シンポジウム2「ことばの教育と国際理解教育」	「国際理解教育における実践研究の視座」	大津和子編「日韓中をつくる国際理解教育」明石書店

[付録2] 年表：日本国際理解教育学会の研究活動の歩み

研究大会				その他の研究活動
年	大会日時・会場	シンポジウムテーマ	特定課題研究・イベント等	
2015	第25回大会 2015年6月13・14日 会場：中央大学多摩キャンパス	「グローバル・シティズンシップの育成と国際理解教育」	「国際理解教育における実践研究のモデルを探る」	日本国際理解教育学会編『国際理解教育ハンドブック』明石書店
2016	第26回大会 2016年6月17・18・19日 会場：上越教育大学	「21世紀の社会に求められる育成すべき資質・能力と国際理解教育」	「研究コミュニティのつながりを広げる」 * イベント 「日中共同『異己』理解・共生授業プロジェクト公開研究会」	
2017	第27回大会 2017年6月3・4日 会場：筑波大学	シンポジウム A「湖がつなぐ国際理解教育—アラル海と霞ヶ浦」 シンポジウム B「越境する教育イニシアチブ理念と実際—共生・連帯の視点から」	「国際理解教育における理念研究、方法研究の展望をひらく」	
2018	第28回大会 2018年6月15・16・17日 会場：宮城教育大学	シンポジウム A「ユネスコが推進するグローバルシティズンシップ教育(GCED)と国際理解教育」 シンポジウム B「教室のマイノリティとしての外国人児童生徒の視点から考える国際理解教育」	「国際理解教育における理念研究、方法研究の現段階—プロジェクトの取組と課題」 “実践者のための”論文書き方コーチング * イベント 「道徳・国際理解公開授業および検討会」	
2019	第29回大会 2019年6月15・16日 会場：椋山女学園大学星ヶ丘キャンパス	「大陸を超えた学びの場としての地球子ども広場と多文化共生の学校・地域づくり」	「国際理解教育における理念研究、方法研究の到達点と今後の課題」 異己シンポジウム『異己』理解・共生授業プロジェクトの成果と課題」 “実践者のための”論文書き方コーチング	
2020	第30回大会 COVID-19のため中止			

(中山京子・菊地かおり・桐谷正信)